

栽培種目：まくわうり

プランタによる“まくわうり”栽培に挑戦

チーム名：まくわうりチャレンジャー

氏名：中村直充（代表）、斎下和彦、高橋 宏、難波清之、山本多美

〈要約〉

プランタによる、“まくわうり”の栽培育成に、毎月の班ミーティングで情報交換しながら、各自で挑戦した。ウリ科野菜で最も心配な病気が“うどんこ病”なので、発生予防に努めることを研究目標とし、2個から3個の収穫を目指した。

4名とも目標とした“まくわうり”を収穫できたが、発芽しなかったとか、“うどんこ病”発生があったとか、突然葉が枯れ始め数日後に株全体が枯れてしまったとか、風の影響で落果したとか、という状況を経験した今回の挑戦であった。以下、それぞれがまとめたレポートを要約し報告書としてまとめている。

斎下和彦

2株（苗aと苗b）を栽培した。苗aでは2個収穫したが、苗bは、途中で葉が枯れ始め、3日後には株全体が枯れるという結果で終了した。

1. 初めに

マクワウリは本来は地這いで栽培するが、本件栽培ではプランタに支柱を立て上方へ誘引するように栽培するプランタ栽培を実施した。また、本件プランタ栽培に当たっては、NHKテレビテキスト「趣味の園芸/やさいの時間」2014年4月号に掲載された放送番組用の記事を参考にした。

2. 方法

(1) 苗の準備

ポットに充填した市販の培養土に種まきし（5月3日）、2株の苗a, bを用意した。

(2) プランタに植付け

2株の苗a, bの本葉が7枚になった時点でそれぞれ摘芯し、プランタA, Bに移植した（6月11日）。さらに10日経過後に、それぞれのプランタA, Bにつるを誘引するための支柱立てを行った（6月21日）。

(3) 整枝、人工授粉

摘芯後の苗a, bに、それぞれ子づる3本が付くように整枝した。しかし、今年の梅雨は長期だったため、長雨の低温や日照不足のためか雄花は咲くが、雌花がなかなか付かなかつた。7月16日に、やっと最初の雌花が付いたことを確認した。

人工授粉を試みたが、雄花も雌花も雨滴に濡れていたため実行が難しく、そのため、以後は蜂など昆虫による受粉に任せた。

3. 結果

(1)NHK テレビテキストは、「プランタでも1株から6~8個収穫できます」（子づる1本あたりに2~3個）と記載しているが、本栽培では、苗aの株から収穫できたマクワウリは2個だけであった。

(2) 苗 b の株は、栽培過程で 4 個の実を付けていたが、7 月 31 日に突然葉が枯れ始め、その 3 日後 (8 月 2 日) にはつるも含め株全体が枯れてしまった。(つる枯れ病か?)



4. まとめ

不本意な結果になった原因としては、例年よりも梅雨が長期かつ低温であったこともあるが、NHK テレビテキストの説明にもっと忠実に従うべきだったと思う。特に、子づるの親づるからの取り出し位置が重要で、株根本から遠い位置の節 (第 4~6 節) にすべきであったと思う。その理由は、以下の通りと考察した。

本栽培における子づるは、株根本に最も近い第 1~3 節から取り出している。その結果、第 1 節から取り出した子づるが異常に大きく成長したのに対して、第 2 節、第 3 節からの子づるが非常に細く貧弱になり、栄養不足のためか実がつかなくなってきたからである。 以上

高橋 宏

種から栽培したが、1 回目は発芽せず、2 回目で発芽した。発芽した芽は順調に育ち、最大で 5 個収穫できた。

1. 初めに

5-G 班の課題作物となった、プランタでのまくわ瓜の栽培・収穫を行った。栽培に当たっては、斎下さんよりいただいた NHK テレビテキスト「趣味の園芸/やさいの時間」2014 年 4 月号を参考にした。

2. 方法

- 1) 3 月 24 日、ビニールの小鉢 (径 9 cm 3 個、径 12 cm 1 個) にまき、室内に置き、発芽を目指した
- 2) 4 月 8 日 最初の鉢に 14 日たっても芽が出ないので、2 回目をまく (径 12 cm 4 個)、暖かくなったので、4 月 19 日に鉢は外に置く。
- 3) 小鉢で芽の成長を観察するが、1 回目の小鉢は、ほとんど枯死してしまった。



- 4) 5 月 23 日に 3 個のプランタへ 6 苗移植し、継続して観察する。また化学肥料を 3 週間に 1 回程度の間隔で使用する。
- 5) 7 月 11 日花芽ができています。
- 6) 7 月 14 日実生を確認する。

3. 結果

8 月 1 日から 10 日の期間で 10 個収穫する。



4. まとめ(考察)

- 1) 最初に蒔いたのが失敗したのは、まだ寒かったので、室内に置いたが温度管理を失敗したためと考えている。
- 2) 2回目に蒔いたのは収穫できたが、プランタにより差ができた(5個、3個、2個)。この要因は、不明である。
- 3) 自家で食したが、ほんのり甘く、おいしかった。
- 4) 余った種を、6月末に蒔いたが、芽が出ず。理由は分らず。
- 5) 収穫量は、6本の苗木で10個、決して満足のいく数値ではなかった。

以上

難波清之

課題作物とした、まくわうりを種から栽培した。“うどんこ病”発生を予防するため、風通し、日当たり、葉の密集に気をつけていたが、台風10号の風で、途中で落果してしまった。

1. 初めに

プランタによる“まくわうり”の栽培・育成をテーマとし、“うどんこ病”の発生予防に努めて、2個から3個の収穫を目指した。栽培にあたっては、斎下さんよりいただいたNHKテレビテキスト「趣味の園芸/やさいの時間」2014年4月号を参考にした。

2. 方法

ポリポットに種をまき、育苗する。本葉が7枚になったら、摘芯しプランタに植え替えて育てる。

3. 結果

- 4/20・・・ポットにまくわうりの種4ピースづつ蒔く。
- 4/28 芽がでた。
- 5/5 芽が4本出そろったので、元気そうな2本を残して間引きする。

- 5/13 元気な1本を残して間引きする。
- 5/28 約1週間、旅行のため、水を入れた洗面器にポットを置いて乾燥を防ぐ。
- 6/3 久しぶりに日光に当てたら萎れてしまう。
- 6/16 大分元気になったので、プランタに移植する。
- 6/23 本葉が7枚になったので、摘芯する。
- 7/3 花の根元が少しふくらんできた。
- 7/10 元気そうな2本を残して残りは摘果する。



- 8/16 台風10号の風で実が落ちてしまう。



4. 考察

“うどんこ病”を予防するため、風通しの良い、日当たりのよい場所を選んでプランタを置き、葉が密集しないように注意した結果、“うどんこ病”にはかからなかった。

しかしながら、風対策を怠ったため、途中で落果・失敗してしまった。

以上

山本多美

うり科の野菜“まくわうり”は初めての栽培でした。“うどんこ病”の発生予防がテーマだったが、7月になってから、うどん粉病が発生し、長期間悩まされた。結果としては、苗2本で大小5個を収穫でき、まずまずの出来だった。

1. 初めに

昨年は体調を崩し、栽培フェスタには参加しませんでした。懐かしさもあり、今年は参加を希望しました。栽培にあたっては、斎下さんよりいただいたNHKテレビテキスト「趣味の園芸/やさいの時間」2014年4月号を参考にしました。

2. 方法

- 1) 以前使用したプランタ（長方形で長さ60 cm、幅25 cm、深さ34 cm）をよく洗って天日干しする。まくわうりは根が多くの酸素を必要とするため、地表近くに浅く広く根をはる性質がある。出来ればもっと幅の広いプランタが理想である。
- 2) 用土は、新しい培養土に追肥（牛糞）1割、有機石灰を一握り混ぜて準備する。また、底に保水性を保つため、ネットに小石を詰めたものを6袋用意する。
- 3) 種まき前の準備として、プランタにネットを使用した軽石を床に敷き、用土を入れて1週間寝かす。
- 4) 5月12日 黄金まくわうりの種を直まき（1か所4粒を2か所）する。
- 5) 栽培過程
 - 5月23日 芽が出始める。
 - 6月16日 葉が成長し、茎がしっかりしたので、2本を残し、あとは抜く。割りばしで支柱を立てる。
 - 6月25日 ウリハムシを見つけ、手で取り除く。
 - 6月26日 プランタの四隅に120 cmの支柱を4本立てて、横に渡し、さらに20 cm間隔のビニール紐を渡す。
 - 7月1日 大分伸びてきたので、整枝す

る。まくわうりは親づるや子づるではなく、孫づるに雌花（果実）を付けやすい性質がある。そのため、孫づるを伸ばすようにする。3本の子づるをそれぞれ上に向かって誘引する。花が咲いてきたが雄花が多い。孫づるには雌花がちらほら。追肥と根が浮いてきたので土を追加する。

- 7月6日 恐れていた、うどん粉病が発生する。親づるの葉3枚を取り除く。また、葉全体に消毒液を噴射する。
- 7月20日 梅雨がまだ上がらず、下の葉から黄色くなり、“うどんこ病”がひどくなる。



- 7月22日 ネットで袋掛けする。
- 8月9日 初収穫。大きさ14 cm。完熟しすぎて、ひび割れしている。
- 8月18日 2個を収穫する。
- 8月26日 最後の2個を収穫する。小さめであった。

3. 結果

苗2本で、果実2～3個の目標でしたが、大小5個を収穫し、味も甘く、香りもよかったので、まずまずの出来かと思えます。

4. 考察(まとめ)

梅雨が7月後半まで長引き、恐れていた“うどんこ病”に悩まされ、葉がどんどん黄ばみました。そんななか、よく5個、実をつけてくれたと思います。

以上

中村直充

山本さんから頂いた苗から、途中参加したが、プランタに植えてから徐々に下葉が黄色くなり、7日目で全体が萎れはじめ、枯れてしまいました。 以上